

生活指導だより

令和6年7月11日
北区立滝野川第五小学校
校長 高草木 政浩
生活指導 西川さゆり

不審者対応訓練

6月21日(金)に、滝野川警察の方と共に、不審者対応の避難訓練を実施しました。

「校内に刃物を持ち、児童に危害を加えようとする不審者が侵入した」場面を想定し、第1発見者の教員が、職員室に情報を伝え、教室にいる児童に対して、避難の指示を行います。校内放送では決められた合言葉を用い、児童は状況を知ります。そして、担任は速やかに教室の施錠、扉のガラスを覆うと共に、児童は机をバリケードのように動かし、窓際で静かに待機します。避難指示の放送と同時に、校内に設置している110番通報装置を使って、警察に通報します。一方、不審者と対峙している教員や主事は、不審者を激高させないように、声かけの対応を続け、警察の到着を待ちます。警察到着後、不審者を確保、校内児童へ伝えます。

訓練後、体育館にて、滝野川警察スクールサポーター佐々木さんからは、「いかのおすし」を忘れずに、危険な場面では身を守る行動ができるようにしよう」、不審者役で訓練にご協力いただいた刑事課の村上さんからは、「校内に入ってきた不審者は、物音がするところ、声がするところを狙っている。今回の訓練では、先生の指示をよく聞いて、とても静かで、教室に子どもがいるかいないかわからない様子だった。鍵もかかっている、とてもよい対応ができていた。一人でも勝手な行動をとっていたら、その人だけでなく、周りの多くの人に危害が加わることも十分にあり得る。これからも、先生の指示をしっかりと聞き、命を守る行動をとってほしい。」とのお話をいただきました。

このような事件はあってはならないことですが、
どんなときに危害を受けてしまうかわかりません。
日頃から身の安全を守る行動がとれるように、ご
家庭でも外出時の安全等について、話し合いを
していただければと思います。



7月安全指導 「生命の安全教育」

子供たちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう、全学級で指導をしています。「生命の安全教育」とは、「生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、また、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、生命を大切にする考えや、自分や相手、一人一人を尊重する態度等を発達段階に応じて身に付けることを目指す」ものです。(文部科学省 HP より) 滝五小では、文科省の指導資料を参考に指導をしています。ねらいの根底にあるのは、「だれもが大切にされ幸せに生きる権利があること」です。これからも、各教科や学級活動等において、人権教育や性教育に取り組んでいきます。

★あとわずかで夏休みです。このところの猛暑で、健康面、生活面で不調を訴える児童が見られます。学校では熱中症対策として、教室及び校舎内の温度をできる限り調節し、こまめな水分補給を呼びかけています。ご家庭でも水筒や冷却タオルなどご用意いただきありがとうございます。学校で元気に活動するためには、寝不足を防ぎ、糖分の取り過ぎに注意してバランス良い食事を心がけることが基本です。暑い夏、楽しい思い出がたくさんできるように、ご家庭でも引き続きご配慮ください。